

## 平成 25 年度大学院理学専攻（修士課程）修了予定者アンケート

以下、平成 26 年 2 月に理学専攻修了予定者に対して実施した、大学院での学習環境全般に関するアンケート結果を示す。平成 25 年度修了予定者は 74 名で、そのうち 68 名から回答が得られ、アンケートの回収率は 92%であった。

理学部大学点検評価委員会

### I. 分析

#### 【アンケート結果概要】

大学院での研究や生活で満足できたものとして「研究室での研究やゼミ」という回答が 66%と最も高く、次いで「先生との出会い」、「友人との出会い」が 60%であった。「修士論文」と回答した人が 49%、「授業」と回答した人が 32%となり、昨年よりも数値が少し上がった。

逆に満足できなかったものとしては「課外活動」が 31%、「修士論文」が 28%であった。さらに昨年顕著に増加していた「授業」については 7%となっており一昨年の数値と同程度になった。

次に大学院における授業に関する質問で満足できる授業が多かったと回答した学生は 92%であった。ほとんどの学生は満足感をもっているようである。

教育研究施設（学習環境）について、肯定的意見は 96%であり、昨年度より数値が上がった。

就職支援活動については、肯定的意見は全体の 63%であり、昨年度とあまり変わらない。実際に研究が忙しく就活に専念できないとか、利用するほどの魅力を感じない、またあまり利用していないなどの意見があった。

またボランティア活動の参加についてきいたところ、82%の学生が活動したことがないと答えている。やはり研究に専念する必要からボランティア活動に割くがないと思われる。その一方でボランティア活動をした学生にその満足度を聞いたところ全員が満足、もしくはほぼ満足と答えている。実際に活動した学生にとっては満足度は高い。

最後に教育全般に関する自由意見であるが、いくつか意見が出た。

#### 【総括】

アンケートの結果を見て少々気になったのが、就職支援活動についてである。就職活動の支援について肯定的意見が 63%であり、昨年度と同様であったが、少々数値が低いように感じる。大学院では、学部の時以上に研究に割く時間が増え、思ったように就職活動がしにくいという状況が生じるとされるため、大学としての就職支援活動がより重要となるであろう。出口の部分をしっかりしておくことは大学院進学者数の増加という観点からも大切なことであると考えられる。

教育全般に関する自由意見では分野特有の色々な意見があり、だされた意見を参考に必要があれば各分野で対応を検討すべきであろう。また、研究費に関する意見がいくつか出ていたことをここで特に記しておく。

## Ⅱ. 集計結果

1. あなたの所属する講座を下記より選んでください。

- A. 数学 B. 物理科学 C. 生物科学 D. 地球科学 E. 情報科学 F. 応用化学  
G. 海洋生命・分子工学 H. 災害科学 I. 植物分類・地理学 J. 海底資源科学

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	計
修了者数	12	7	10	8	7	15	9	6	0	0	74
回収件数	11	5	10	8	7	14	8	5	0	0	68
回収率(%)	92	71	100	100	100	93	89	83	0	0	92

2. 大学院での研究や生活で満足できたものを下記より選んでください。(複数回答可)

- A. 修士論文 B. 授業 C. 研究室での研究やゼミ D. 先生との出会い  
E. 友人との出会い F. 課外活動 G. その他( )

	A	B	C	D	E	F	G
数学	7	6	6	6	6	5	0
物理科学	2	2	2	3	4	2	1
生物科学	2	2	5	6	9	2	0
地球科学	5	5	4	6	4	1	1
情報科学	5	4	7	3	3	1	1
応用化学	4	3	11	9	9	0	0
海洋生命・分子工学	7	0	6	5	4	2	0
災害科学	1	0	4	3	2	0	0
植物分類・地理学	-	-	-	-	-	-	-
海底資源科学	-	-	-	-	-	-	-
合計	33	22	45	41	41	13	3
合計 (%)	49	32	66	60	60	19	4

物理科学

- ・ TA。

地球科学

- ・ たくさんの懇親会。

情報科学

- ・ 学会発表。

3. 大学院での研究や生活で満足できなかったものを下記より選んでください。(複数回答可)

- A. 修士論文 B. 授業 C. 研究室での研究やゼミ D. 先生とのトラブル  
E. 友人とのトラブル F. 課外活動 G. その他( )

	A	B	C	D	E	F	G
数学	3	0	2	0	0	2	0
物理科学	1	0	1	1	1	0	2
生物科学	5	1	1	0	0	2	1
地球科学	2	0	1	2	1	4	1
情報科学	1	1	0	0	1	2	0
応用化学	2	3	2	2	0	6	0
海洋生命・分子工学	3	0	0	0	0	5	0
災害科学	2	0	0	0	0	0	0
植物分類・地理学	-	-	-	-	-	-	-
海底資源科学	-	-	-	-	-	-	-
合計	19	5	7	5	3	21	4
合計 (%)	28	7	10	7	4	31	6

## 物理科学

- ・ なし。
- ・ 自分に。

## 生物科学

- ・ なし。

4. 大学院の授業は満足できるものでしたか。
- A. 満足できた B. 満足できる授業が多かった  
C. 満足できる授業が少なかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数学	3	8	0	0
物理科学	2	3	0	0
生物科学	8	2	0	0
地球科学	6	1	1	0
情報科学	3	4	0	0
応用化学	3	7	4	0
海洋生命・分子工学	5	3	0	0
災害科学	3	1	0	0
植物分類・地理学	-	-	-	-
海底資源科学	-	-	-	-
合計	33	29	5	0
合計 (%)	49	43	8	0

## 物理学

- ・ 学部を基礎に、本来の意味での研究活動ができました。

## 地球科学

- ・ 学部よりも高度な内容ながら、基本に立ち戻って丁寧に授業してくれた。
- ・ 外部の講師を招いての集中講義がありましたが、それがとても為になるものだった。

## 情報科学

- ・ 基礎的な内容の授業が多く、現在の新しい内容について述べた授業が少なかった。

## 応用化学

- ・ 普通です。
- ・ 永野先生の有機金属化学と、小槻先生の集中授業は非常に有意義だったので、これからも続けてほしいです。
- ・ 授業らしい授業はなかったが、有機金属の授業は十分すぎるほど良かったです。

## 5. 教育研究施設（学習環境）は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた  
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数学	4	7	0	0
物理学	2	3	0	0
生物科学	7	3	0	0
地球科学	7	1	0	0
情報科学	3	3	1	0
応用化学	7	5	1	0
海洋生命・分子工学	5	3	0	0
災害科学	3	0	1	0
植物分類・地理学	-	-	-	-
海底資源科学	-	-	-	-
合計	38	25	3	0
合計 (%)	58	38	4	0

## 6. 高知大学の就職支援活動は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた  
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数学	1	6	3	0
物理学	1	1	2	1
生物科学	2	5	2	0
地球科学	1	2	4	1

情報科学	2	4	1	0
応用化学	3	6	5	0
海洋生命・分子工学	1	6	1	0
災害科学	0	2	1	0
植物分類・地理学	-	-	-	-
海底資源科学	-	-	-	-
合計	11	32	19	2
合計 (%)	16	47	28	3

## 数学

- ・ 教職関係の問題集が手軽に借りることができ、非常に助かりました。

## 物理科学

- ・ 就職室に相談ができない。研究をしていれば就職活動に専念できないのも分かって下さい。

## 生物科学

- ・ 大学での説明会がなかったら私は内定貰えなかった。

## 地球科学

- ・ 利用する程の魅力を感じなかった。
- ・ 特に利用する機会がなかった。
- ・ 身障者の就職情報をもっと充実させてほしい。
- ・ ハローワークとの提携での就職支援がとてもよかった。

## 情報科学

- ・ 就職室に質問にいても、あまり良い回答が得られなかった。

## 応用化学

- ・ あまり利用していない。
- ・ 少しでも資金面の援助があれば学生も動きやすいと思います。
- ・ 就職室にはよくお世話になりました。

## 災害科学

- ・ 使っていないのでわかりません。

7. 大学院在学中に高知大学公認あるいは非公認のボランティア活動に参加したことがありますか。

A. ある B. ない

	A	B
数学	2	9
物理科学	1	4
生物科学	3	7
地球科学	1	7
情報科学	0	7
応用化学	3	11
海洋生命・分子工学	2	6
災害科学	0	4

植物分類・地理学	-	-
海底資源科学	-	-
合計	12	55
合計 (%)	18	82

8. 「ある」と答えた方に質問します。その活動は満足いくものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた  
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数学	2	0	0	0
物理科学	1	0	0	0
生物科学	4	0	0	0
地球科学	0	0	0	0
情報科学	0	0	0	0
応用化学	2	1	0	0
海洋生命・分子工学	2	0	0	0
災害科学	0	0	0	0
植物分類・地理学	-	-	-	-
海底資源科学	-	-	-	-
合計	11	1	0	0
合計 (%)	92	8	0	0

9. 理学専攻(修士課程)の教育研究全般について、意見があれば書いてください。

数学

- ・ メディ森の返却ポストが欲しい。もしくは院生の返却期間を長くしてほしい。
- ・ 正門のバイク置場の前を一方通行(普通自動車)にして欲しい。

物理科学

- ・ 先生方によって対応が異なるのも分かる。研究にも費用がかかります。学生にも費用負担があります。

地球科学

- ・ フィールド調査に関して旅費等の支援がもう少し欲しかったと思います。
- ・ 自ら調べた論文はほとんど使い物にならないと否定されたので、論文を書く際に参照できる論文をもう少し詳しく紹介してもらいたかった。
- ・ もうすこし多くの学会に参加させて欲しかった。
- ・ 学生支援課の奨学金窓口の対応が悪い。
- ・ 研究に関しては最初から何をすべきか、何ができるのか他コースあがりの自分にとっては何もかもが初めてでした。しかしたくさん先生方や同コースの仲間たちのおかげで今まで楽しく過ごせましたし、先生たちの個性たっぷりの授業も大変魅力的でした。研究はあまり満足できませんでしたが、院に進学してよかったです。

情報科学

- ・ なし。
- ・ 学会に出席するための費用が研究費から出ることもあり、出席したい学会に参加することができなかった。

応用化学

- ・ もっと他大学との交流（研究等で）をもつべきだと思う。
- ・ 特になし。/ありません。
- ・ 応用化学は他分野に比べて人数も多く、一人あたりの実験スペースが狭いと思いました。物理の実験室を見せてもらると、一人当たりが化学の二倍のスペースでうらやましく思いました。
- ・ また、教育関連ではないが、理学部 2 号棟（化学のみ？）は冷暖房を結構守っているが、1 号棟はそうでもない話を聞きました。
- ・ 節電で電気を少なくしていますが、夜中は次の電気がつくまで結構暗かったです & 怖かったです。
- ・ 理学部自体の研究費をもう少し充実したものにしてほしい。

災害科学

- ・ ありません。